



第68回

全国植樹祭とやま2017

かがやいて 水・空・緑のハーモニー

実施計画 <概要版>



富山県

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針	2
4. 大会テーマ	3
5. シンボルマーク	3
6. 大会ポスター原画	3
7. 開催日	4
8. 主催	4
9. 開催規模	4
10. 開催会場	4
11. 東日本大震災復興支援	6

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. 式典行事の運営	7
3. 式典進行プログラム	8
4. 式典演出の概要	11

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	14
2. お手植え計画	15
3. お手播き計画	15
4. 代表者記念植樹計画	16
5. 招待者記念植樹計画	17
6. 植樹会場整備計画	19

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	24
2. 施設配置計画	25
3. 主要施設計画	27
4. 案内・誘導計画	29
5. 飾花計画	29
6. 電気・給排水・通信設備計画	29

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	30
2. 招待計画	30
3. 参加者行動計画	31
4. 受付計画	32
5. 作品御覧・レセプション計画	33
6. 会場内動線計画	34
7. おもてなし広場計画	35
8. サテライト会場計画	38
9. 昼食計画	39
10. 医療・衛生計画	40
11. 消防・防災・警備計画	40
12. 実施本部計画	41
13. 研修・リハーサル計画	42
14. 雨天時・強風時対応計画	42

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方	43
2. 宿泊計画	44
3. 輸送計画	45
4. 視察計画	46

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	47
2. 開催会場	47
3. 参加者一覧	47
4. 荒天時運営計画	48

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	49
2. 記念事業の内容	49
3. 関連事業の内容	51

第9章 広報計画

1. 基本的な考え方	52
2. 広報計画	52

第1章 開催概要

1. 開催意義

本県は、標高3,000メートル級の北アルプス立山連峰から、森林・里山地域、平野、そして水深1,000メートルの神秘の海富山湾まで高低差4,000メートルのダイナミックで変化に富んだ地形を有しています。これを背景とした本州随一を誇る植生自然度に象徴される豊かな自然環境は、ライチョウ等の貴重な野生生物をはじめ多様な動植物を育み、私たちの生活の基盤である大気や水をはじめ、おいしいお米や種類豊富でキトキトの魚に代表される食の恵みをもたらすなど、私たちの命と暮らしを支えています。さらにこの多様な自然は、農林水産業をはじめとしたさまざまな地域産業の振興に寄与するとともに、井波彫刻や庄川挽物木地に代表される伝統工芸、国宝瑞龍寺、世界遺産・五箇山合掌造り集落などの地域特有の文化を育んできました。

一方、かつて山村住民とのかかわりの中で維持・管理されてきた里山林は、昭和30年代以降の生活様式の変化等により利用されなくなり、明るい林を好む動植物が減少する一方で、クマなどの大型動物が人里近くまで活動域を広げる要因にもなってきました。このため、平成19年度から導入した「水と緑の森づくり税」を活用し、生物多様性の保全や野生生物との共生を目指した里山の整備・保全を県民の協働で進めています。

また、「森は海の恋人」といわれるように、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育みます。本県でも林業関係者と漁業関係者が協力して森林整備活動や魚礁の設置など様々な取り組みが進められています。平成27年10月に開催された第35回全国豊かな海づくり大会を契機として、森・川・海を一体として捉えた環境保全に関する意識が高まっており、今後、ますます森づくりと海づくりの連携が深まっていくものと考えています。

他方、本県の森林の約19%にあたる54千haを占めるスギを中心とした人工林については、その多くが間伐等の手入れが必要な林齢から、木材として利用可能な林齢へと資源の充実を迎えています。今、我々はこの身近な木材を有効に活用することが林業・木材産業の振興にとって不可欠です。

こうした中、本県では国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。伐採後の再造林にこの「立山 森の輝き」を積極的に活用し、その伐採・利用と再造林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりにより森林資源の循環利用を促進していく必要があります。

北陸新幹線開業まもない時期に全国から多くの林業関係者をお迎えして開催することから、この機会を活かして、本県の豊かな森づくりの取り組みが大きく前進する意義のある大会とします。

《 全国植樹祭と富山県の関わり 》

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑化に対する国民的理解を深めるために行う国土緑化運動の中心的行事で、昭和25年に第1回大会が山梨県で開催されました。

第1回大会から遡ること3年、昭和22年に、天皇陛下が地方巡幸で富山県へご訪問された際に、旧細入村（現在の富山市）でタテヤマスギ3本をお手植えされました。これをきっかけに、翌年の昭和23年から天皇陛下による公式植樹が行われるようになり、昭和25年からの全国植樹祭につながったとも言われています。

本県では、昭和44年5月、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、砺波市頼成で第20回大会を開催しました。両陛下には、タテヤマスギ、ボカスギ、マヤマスギの苗木のお手植えを賜るとともに、県内外からの12,000人の参加者により、スギ15,000本の植樹が行われました。



2. 開催理念

私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国に発信し、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなげます。

3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

① 県民参加による多様な森づくりの推進

本県では、平成18年に「富山県森づくり条例」を制定し、平成19年度から「水と緑の森づくり税」を活用して、地域住民との協働による里山再生や、先駆的な支援を行っている「とやまの森づくりサポートセンター」を通じた、ボランティアグループや企業をはじめ幅広い県民参加の森づくり活動に取り組んでいます。

この大会を県民参加の森づくり活動をさらに広げる契機とし、本県の豊かな森を県民共通のかけがえのない財産として、次の世代に引き継いでいきます。

② 持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

本県の人工林は全国と同様に主伐期を迎えていることから、伐採・利用と再造林による適正な森林更新を積極的に進め、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりを推進する必要があります。

この大会では、県産材を積極的に活用し木の良さをPRすることにより、森林資源の循環利用を促進し、林業・木材産業の振興につなげていきます。

③ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

本県では、国民の約3割が罹病し、国民病ともいわれている花粉症対策として、花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。この人に優しい無花粉スギを持続可能な森づくりを推進する上で必要な植林（再造林）の切り札として全国に普及します。

(2) 森づくりと海づくりの連携の推進

本県では、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育むことから、漁業関係者が林業関係者などと協力して森林整備活動を実施し、地元の間伐材を活用した魚礁を設置するなど、海づくりと森づくりの連携が進んでいます。平成27年10月に開催された第35回全国豊かな海づくり大会を契機として、森・川・海の環境保全や森づくりと海づくりの連携の重要性についての認識が、より多くの県民の皆さんの間に広まりました。

この大会では、この成果を引き継ぎ、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信し、一層の推進を目指します。

(3) 雄大な自然など富山県の魅力発信

立山連峰に代表される雄大な自然や植生自然度本州随一の豊かな森林が、世界的にも珍しい「神秘の海富山湾」やそこで獲れる種類豊富でおいしい富山の魚と食文化、国宝瑞龍寺や世界遺産・五箇山合掌造り集落など歴史ある伝統・文化、さらには、井波彫刻や庄川挽物木地といった伝統産業を育んできました。こうした本県の気候風土に育まれた富山の宝ともいえる数多くの魅力を全国に発信します。

(4) 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業まもない大会であることから、県外からの多くの招待者などに対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、富山にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

4. 大会テーマ

全国から応募のあった1,434点の作品の中から、大会テーマ審査会で選定しました。

『 かがやいて 水・空・緑のハーモニー 』

作 者 : 濱田 典佳 (はまだ のりか) さん (富山県黒部市)

制作意図 : 富山の川、海、森林や空といった自然が調和して、私たち人間にさまざまな恩恵を与えてくれる様子を表現した。

選定理由 : 森・川・海の言葉を使わずに、立山連峰から富山湾までの輝きが映像のように浮かんでくる作品で、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」や北陸新幹線「かがやき」が連想されるとともに、森づくりと海づくりの連携などの大会の基本方針が親しみやすい言葉で表現されている。

5. シンボルマーク

作 者 : Shio Design 塩崎 歩美 氏 (「きときと君」のデザイナー)

制作意図 : 若葉とシャベルを手に植樹のお手伝いをする「きときと君」を中心に、周りに立山連峰から本県の豊かな森(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」)、富山湾とそこに流れ込む川を配し、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育て、輝くふるさと富山を未来へつなぐ県民の姿をイメージしたもの



6. 大会ポスター原画

富山県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった654点の作品の中から、大会ポスター原画審査会で選定しました。

画 題 : 「森と水と」

作 者 : 浅井 さくらさん (富山市立東部中学校3年)
※平成27年度現在

制作意図 : 森が豊かになれば、水も栄養豊富な豊かなものになり、最終的には、海も豊かになると思い描いた。

選定理由 : 大会テーマをよく理解し、水、空、緑をそれぞれ単純化し、独創的で丁寧に描いている。全体として、動的で人目を惹き美しい原画である。



7. 開催日

平成29年5月28日（日曜日）

8. 主催

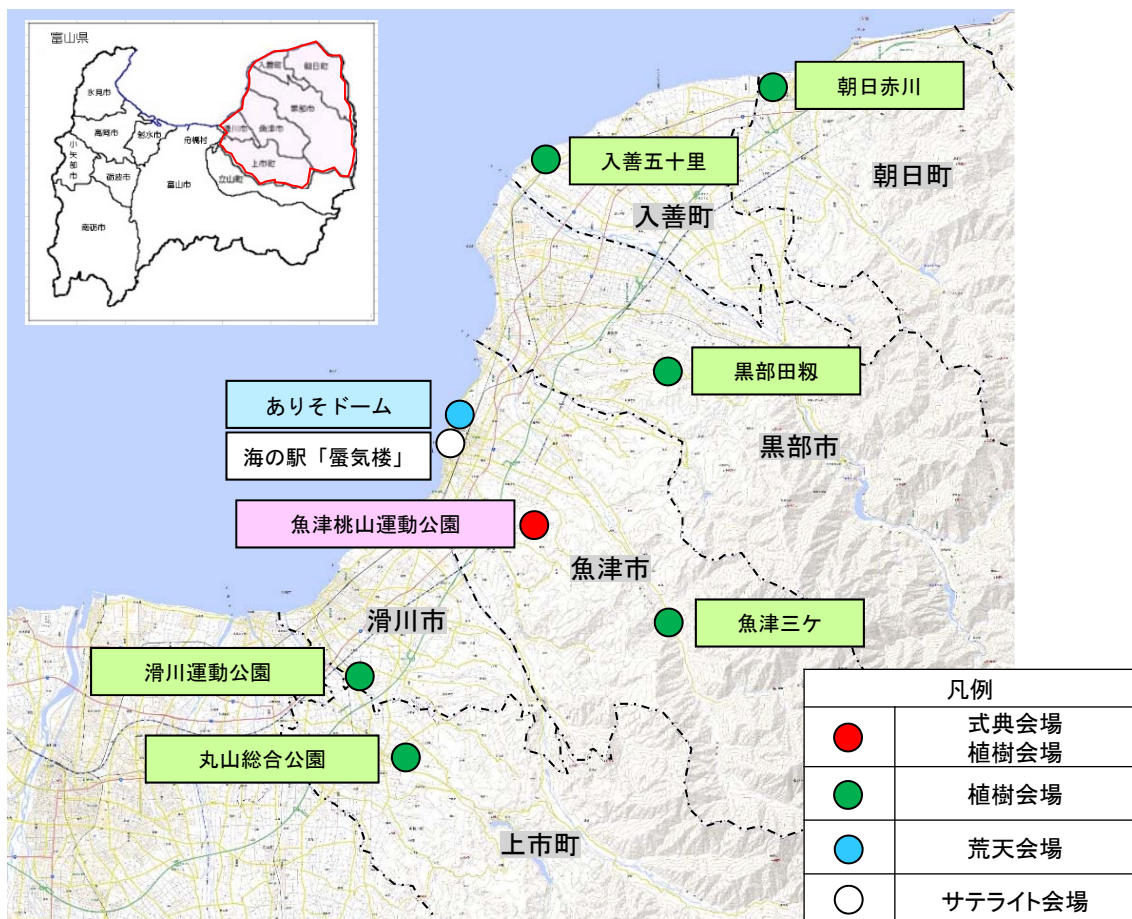
公益社団法人国土緑化推進機構
富山県

9. 開催規模

県内外からの招待者等を合わせて7,500人程度の規模で開催します。

区分	参加予定者数	内訳
県外招待者	1,200人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	3,000人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会 等
出演者等	3,300人	出演者、出展者、実施本部員（県・市町村職員、ボランティア）
合計	7,500人	

10. 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き行事などを実施します。

○魚津桃山運動公園（富山県魚津市出字桃山）

魚津桃山運動公園は、魚津市中心部より南東約4km、標高160m～200mの里山地域に位置する総合運動公園です。公園内には、野球場、陸上競技場、テニスコート、多目的広場などが併設され、平成16年(2004年)に開催された女子野球世界大会の会場として広く知られています。

公園からは、富山湾や立山連峰が眺望でき、県民の憩いの場となっています。



魚津桃山運動公園(空撮)



式典会場から望む富山湾



式典会場から望む立山連峰

(2) 植樹会場

式典会場でもある魚津桃山運動公園に加えて、近隣の市町に植樹会場を設け、招待者の記念植樹を行います。

区分	会場名	備考
式典会場	①魚津桃山運動公園(魚津市)	市民の憩いの場となる里山林の造成予定地
植樹会場	②朝日赤川(朝日町)	富山湾に面した海岸沿いの海岸防災林造成予定地
	③入善五十里(入善町)	
	④黒部田糶(黒部市)	スギ人工林の再造林予定地
	⑤魚津三ヶ(魚津市)	
	⑥滑川運動公園(滑川市)	川辺に生育する樹木などの植栽予定地
	⑦丸山総合公園(上市町)	四季を彩る樹木などの植栽予定地

11. 東日本大震災復興支援

第68回全国植樹祭の開催を通じて、東日本大震災の復興支援を行います。

(1) 海岸防災林の再生支援

- ❖ 東日本大震災の津波で流出した海岸防災林の早期再生を支援するため、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）に対し、広葉樹の苗木等を贈呈します。

(2) 東日本大震災被災地へのエノキのリレー

- ❖ 東日本大震災被災地復興支援のため、皇居内のエノキから種子を採取し、長野県（第67回全国植樹祭開催県）で育成した苗木を富山県が引き継ぎ、さらに一年間育成して、第69回全国植樹祭開催県の福島県にリレーします。
- ❖ リレーしたエノキの苗木は、平成30年の第69回全国植樹祭において、福島県の海岸防災林に植樹される予定です。



エノキの苗木の引継ぎ
(第67回全国植樹祭)



長野県から引き継いだエノキの苗木の育成状況
(県森林研究所)

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 参加者が開催理念を共有し、「また富山に来たい」と感じてもらう構成とします。
- ❖ 式典は簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- ❖ 子どもから高齢者まで、多くの県民が参加できるよう配慮します。

2. 式典行事の運営

- ❖ 式典行事の運営は、来場者の安全性、快適性に配慮し、花とみどりの少年団やボランティア団体等の協力を得ながら、おもてなしの心を持って行います。
- ❖ 司会者、アシスタント、式典音楽隊等の出演者については、小中高校生をはじめ、県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て幅広く編成します。



式典の様子（第66回全国植樹祭）

3. 式典進行プログラム

(1) プログラム

所要時間	区分	プログラム	内容等	音楽	
	開場				
0:12	プロローグ (60分)	イントロダクション	大会概要説明 等	—	
0:09		オープニング映像	テーマ～世界に誇るとやまの自然と文化～ ○「高低差4000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊などで表現	映像内BGM	
0:18		プロローグアトラクション		CD	
0:04		大会概要紹介	前回(昭和44年)大会や平成27年の海づくり大会の紹介 今大会の基本方針の紹介など	—	
0:05		感謝状の贈呈	「大会テーマ」、「大会ポスター原画」受賞者への感謝状 ・贈呈:知事 ・受贈:各表彰者	吹奏楽隊演奏	
0:03		東日本大震災復興支援	被災地代表者へ目録の贈呈 ・贈呈:知事 ・受贈:被災地代表者	CD	
0:03		記念切手贈呈	国土緑化運動記念切手贈呈 ・贈呈:日本郵便株式会社 ・受贈:知事	吹奏楽隊演奏	
0:06		式典案内	奉迎準備	—	
0:03	式典(50分) 【陛下御臨席】	天皇皇后両陛下御着席	お出迎え・御先導:知事 お出迎え:大会会長、国土緑化推進機構理事長	吹奏楽隊演奏	
0:01		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長	吹奏楽隊演奏	
0:02		三旗掲揚・国歌独唱	三旗掲揚:花とみどりの少年団、ボーイスカウト、ガールスカウト 国歌独唱:オペラ歌手	※アカペラにて独唱	
0:07		主催者挨拶	①大会会長(衆議院議長) ②知事	—	
0:05		表彰	授与者:大会会長、農林水産大臣、文部科学大臣、知事 受賞者:受賞者代表	吹奏楽隊演奏	
0:02		苗木の贈呈	花とみどりの少年団から、農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈	合唱隊歌唱 ピアノ演奏	
0:11		天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 代表者記念植樹	御先導:国土緑化推進機構理事長、知事 介添え:花とみどりの少年団	合唱隊歌唱 ピアノ演奏	
0:08		大会テーマのアピール	テーマ～森・川・海のハーモニー～ ○「富山の神々しい山々」、「躍動感あふれる川」、「壮大な海」や 森・川・海のつながりを越中万葉などで表現	ピアノ演奏	
0:02		大会宣言	国土緑化推進機構理事長	吹奏楽隊演奏	
0:05		リレーセレモニー	次期開催県(福島県知事)へ引継ぎ 富山県知事⇒福島県知事 ・木製地球儀の引き継ぎ ・エノキの苗木の引き継ぎ	CD	
0:01		閉会のことば	富山県議会議長	吹奏楽隊演奏	
0:03		天皇皇后両陛下御退席 (知事退場)	御先導・お見送り:知事 お見送り:大会会長、国土緑化推進機構理事長	合唱隊歌唱 ピアノ演奏	
0:30		エピローグ (30分)	エピローグアトラクション グランドフィナーレ	テーマ～つながりあう森・川・海を未来へ～ ○招待者を歓送しメッセージを全国に発信	出演者演奏 CD ピアノ演奏 吹奏楽隊演奏
		終了			

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	登壇場面等
1	大会会長(衆議院議長)	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰(国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール) ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	(公社)国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	富山県知事	①感謝状贈呈 ②東日本大震災復興支援 ③記念切手贈呈 ④天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ⑤主催者挨拶 ⑥表彰 ⑦天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑧リレーセレモニー ⑨天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰(緑化功労者) ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰(全日本学校関係緑化コンクール)
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	(公社)国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	福島県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事あいさつ
9	富山県議会議長	○閉会のことば
10	受賞者	①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ②緑化功労者代表 ③全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ④富山県緑化功労者代表
11	感謝状受賞者	○感謝状贈呈
12	日本郵便(株)代表者	○記念切手贈呈
13	被災地代表者	○東日本大震災復興支援

(3) 出演者一覧

項目	人数	内訳
総合司会	1	○フリーアナウンサー
式典進行役	3	○富山県立桜井高等学校
手話通訳・要約筆記	7	○富山県聴覚障害者協会
ナビゲーター	2	○富山県ゆかりの著名人
式典アシスタント	15	○富山県立入善高等学校 ○富山県立中央農業高等学校 ○富山県立氷見高等学校 ○富山県立南砺福野高等学校 ○富山県立上市高等学校 ○富山県立小杉高等学校 ○富山県立小矢部園芸高等学校
吹奏楽隊	220	○富山県学校吹奏楽連盟 ・富山県立泊高等学校 ・富山県立桜井高等学校 ・富山県立魚津工業高等学校 ・富山県立上市高等学校 ・荒井学園新川高等学校 ○富山県警察音楽隊 ・富山県立入善高等学校 ・富山県立魚津高等学校 ・富山県立滑川高等学校 ・富山県立雄山高等学校
合唱隊	93	○砺波市立出町小学校 ○南砺市立福野小学校 ○南砺市立井波小学校
ピアノ演奏	1	○中沖 いくこ
介添え・三旗掲揚・苗木の贈呈	93	○花とみどりの少年団 ・魚津花とみどりの少年団 ・黒部花とみどりの少年団 ・入善花とみどりの少年団 ・上市花とみどりの少年団 ・大山花とみどりの少年団 ・細入花とみどりの少年団 ・立山花とみどりの少年団 ・新湊花とみどりの少年団 ・大門花とみどりの少年団 ・大島花とみどりの少年団 ・小矢部花とみどりの少年団 ・城端花とみどりの少年団 ・井波花とみどりの少年団 ・福野花とみどりの少年団 ○日本ボーイスカウト富山県連盟 ・滑川花とみどりの少年団 ・宇奈月花とみどりの少年団 ・朝日花とみどりの少年団 ・大沢野花とみどりの少年団 ・山田花とみどりの少年団 ・舟橋花とみどりの少年団 ・福岡花とみどりの少年団 ・小杉花とみどりの少年団 ・下村花とみどりの少年団 ・氷見花とみどりの少年団 ・砺波花とみどりの少年団 ・上平花とみどりの少年団 ・井口花とみどりの少年団 ・福光花とみどりの少年団 ○ガールスカウト富山県連盟
プロローグ・大会テーマ表現	319	○Tomomi ○富山県洋舞協会 ・可西舞踊研究所 ・和田朝子舞踊研究所 ・谷井よう子舞踊研究所 ・ニシムラヤスコダンスファクトリー ・フェアリーバレエシアター ○澤武 紀行 ○黒部市立鷹施中学校 ○魚津市立西部中学校 ・田中秀子バレエ研究所 ・中川モダンバレエアカデミー ・大川都バレエ教室 ・津田バレエスタジオ ○高野 百合絵 ○魚津市立東部中学校
国歌独唱	1	○小林 大祐
エピローグ	385	○魚津せり込み蝶六保存会 ○越中五箇山麦屋節保存会 ○富山県内の森づくり活動団体 ○魚津市内の小学生 ○越中五箇山民謡保存会
合計	1,140	

4. 式典演出の概要

プロローグ ～世界に誇るとやまの自然と文化～

「高低差4000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊などで表現

【洋舞による創作舞踊】(約20分)

○子供たちのダンスにより「森」「川」「海」を生き生きと表現

○ナビゲーターによる語り



導入部 / 「立山の精」登場

・立山がストーリーの柱であることを表現しつつ、立山の神々しさ、美しさを表現

シーン1 / 輝く森

【語りでの表現】

ナビゲーター: 豊富な雪解け水やきれいな空気が豊かな自然・森を育てている
(植生自然度本州No.1の多種多様な森など)

【ダンスでの表現】

立山の厳しい冬、穏やかな春の芽吹き、鳥などにより自然の豊かさを表現

シーン2 / 「輝く川」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 清らかで豊富な水量を誇る川は大地を潤し、人々の生活に様々な恵みを与えてくれる

【ダンスでの表現】

キラキラ光る急流河川、ピチピチした魚、豊かに実った稲穂などを表現

シーン3 / 「輝く海」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 冷たい雪解け水、暖流、海底湧水が富山湾を豊かにしてくれる

【ダンスでの表現】

様々な水の流れや種類豊富な魚、蟹気楼などにより、豊かな命を育む海、「神秘の海 富山湾」を表現

シーン4 / 「輝くハーモニー」

【語りでの表現】

ナビゲーター: 森・川・海はつながりあって、豊かなふるさとを作っている

【ダンスでの表現】

シーン1～3の出演者が一緒になって、つながりあう豊かな富山の森、川、海を表現

式典（大会テーマのアピール） ～森・川・海のハーモニー～

「富山の神々しい山々」、「躍動感あふれる川」、「壮大な海」や
森・川・海のつながりを越中万葉などで表現

大会テーマのアピール

①越中万葉の歌唱(約3分)

立山の神々しさや躍動感あふれる魚津の河川を詠んだ越中万葉をオペラ歌手が歌唱

かたかひ かは せきよ ゆみづ た がよみ
片貝の 川の瀬清く 行く水の 絶ゆることなく あり通ひ見む

(訳:片貝川の瀬を清らかに流れ行く水のように私も絶えずここへ通ってこの神々しい立山を仰ぎ見よう)

たちやま ゆき く ほいつき かわ わたりぜ あぶみつ
立山の 雪消らも 延槻の 川の渡瀬 鐘浸かすも

(訳:立山の雪が消え始めたらしい。早月川の渡り瀬で、増えた水かさであぶみまでも水に濡らした。)

②中学生による森と海へのメッセージ(約5分)

「14歳の挑戦」で優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の育苗体験や魚津漁業協同組合での作業などを通じて富山の海の豊かさやそれを支える森の大切さを実感した中学生がふるさと富山の森・海への保全等の思いを発表



花とみどりの少年団の出演

- ・東日本大震災被災者代表への知事からの目録贈呈の介添え
- ・三旗(国旗、大会旗、県旗)の掲揚
- ・農林水産大臣、環境大臣への苗木の贈呈の介添え
- ・天皇皇后両陛下のお手植え、お手播きの介添え
- ・代表者記念植樹の介添え
- ・木製地球儀の知事からの引継の介添え
- ・エノキの苗木の知事からの引継の介添え
- ・グランドフィナーレでの出演



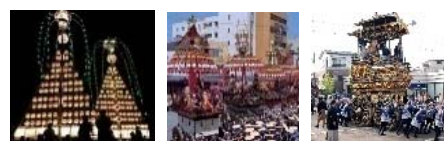
エピローグ ～つながりあう森・川・海を未来へ～

招待者を歓送しメッセージを全国に発信

1. とやまの伝統芸能等を披露（約10分）

①伝統芸能等の紹介

「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産登録された「魚津のタテモン」を式典会場に展示するとともに、「高岡御車山祭の御車山」や「城端神明宮祭の曳山」を映像で紹介



②伝統舞踊の実演

- ・麦屋節
- ・せり込み蝶六



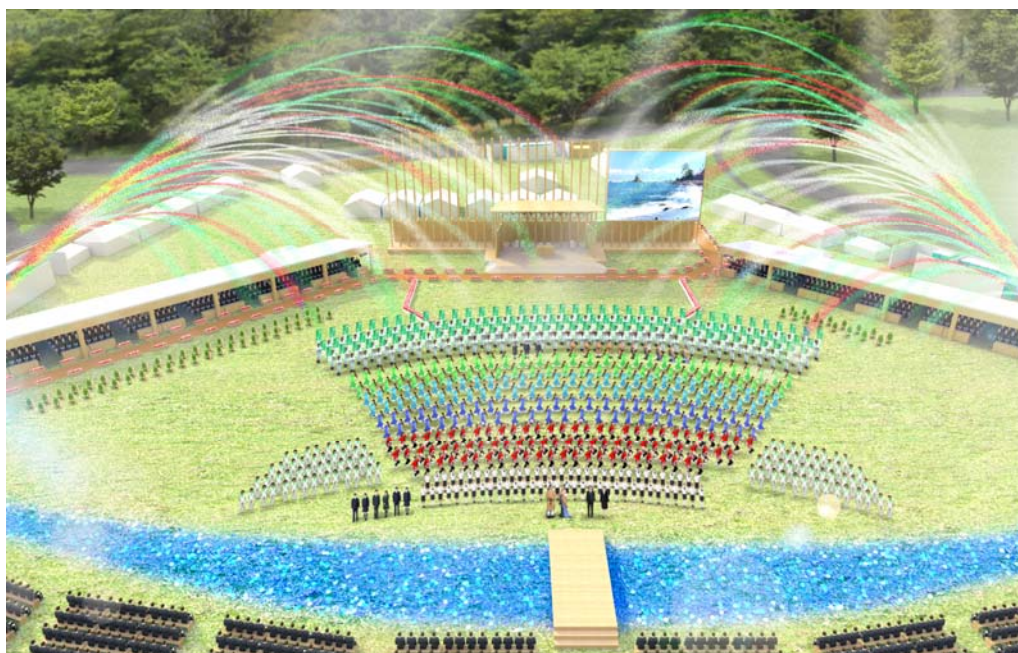
2. 森づくりボランティア等のメッセージ発表（約10分）

森づくり活動に取り組む団体等がのぼり旗を持って勢ぞろいし、活動内容や富山の森に対する思いを発信



3. グランドフィナーレ（約5分）

出演者全員が登場し、「ふるさとの空」の大合唱など



第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 富山県の気候風土に適した広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などを植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林資源の循環利用の促進による林業再生を目指します。
- ❖ お手植え、お手播き樹種は、本県が「環境先端県」や「サクラの宝庫」であることをアピールでき、県民に親しみのあるものを選定します。
 - ①天皇陛下については、本県のシンボリックな樹種や森林資源の循環利用を象徴する樹種
 - ②皇后陛下については、雪国である本県の里山を花で彩る樹種
 - ③本県の歴史・文化や産業、森・川・海のつながりなど、富山県らしさを表現できる樹種
- ❖ 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等から育成することを基本とします。また、苗木のホームステイなどにより、子どもたちが自らの手で育てた苗木も使用します。

会場	位置	内容	
式典会場	お手植え所	天皇皇后両陛下	お手植え
	お手播き所		お手播き
	特別招待者席前	招待者の代表	代表者記念植樹
植樹会場	魚津桃山運動公園	県内外招待者 (代表者以外)	招待者記念植樹
	朝日赤川		
	入善五十里		
	黒部田糲		
	魚津三ヶ		
	滑川運動公園		
	丸山総合公園		

2. お手植え計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- ❖ お手植えされた記念樹は、魚津桃山運動公園内に移植後、「県民参加による森づくり活動」の象徴として、大切に管理・育成します。

《 お手植え樹種 》

天皇陛下	タテヤマスギ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」 	コシノヒガン 本県発祥の全国に普及しているサクラ 	ヒメコマツ アルペンルートの代表種 
	コシノフユザクラ 本県固有の二季咲きのサクラ 	キタコブシ 雪国の春を象徴する花 	ホオノキ 万葉集では富山でのみ詠歌 

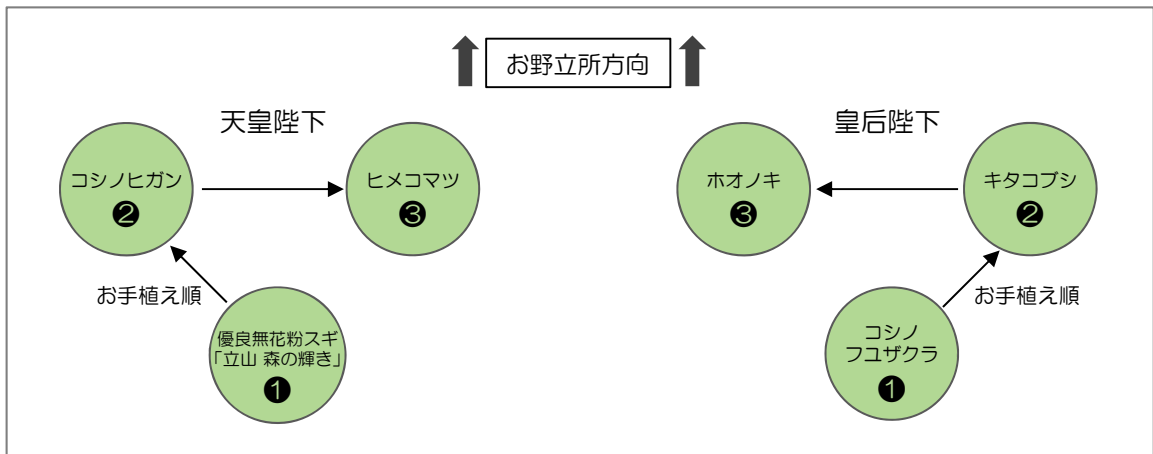
3. お手播き計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き箱へそれぞれ2種の播種とします。
- ❖ お手播きされた種子は、富山県が管理・育成し、県森林研究所に植樹するほか、県内市町村から希望を募り、「記念樹」として配付します。

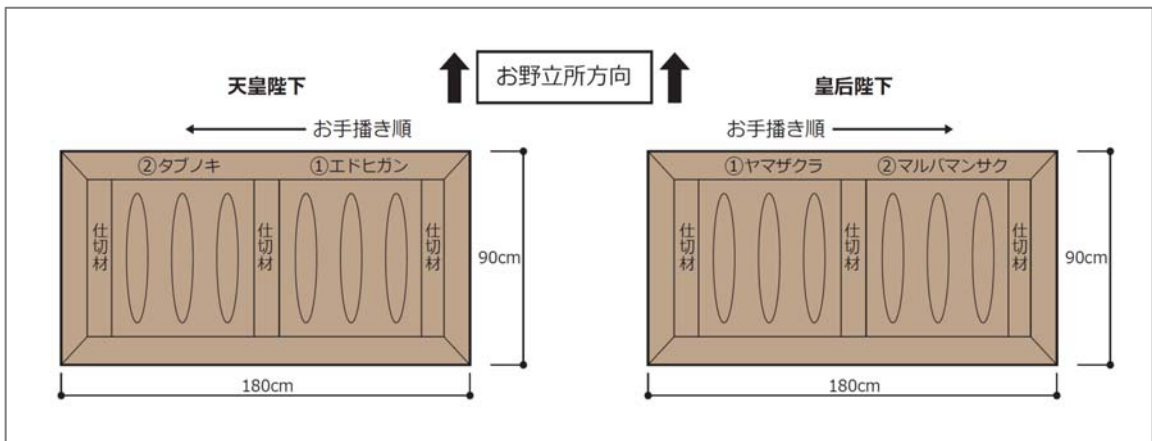
《 お手播き樹種 》

天皇陛下	エドヒガン 日本を代表する長寿のサクラ、河岸に多く生育  	タブノキ 海岸沿いに多く生育、森と海を結ぶ象徴  
	ヤマザクラ 菊と並ぶ日本の国花、野生種のサクラの代表種  	マルバマンサク 合掌造りの木組みの結束材に使用  

《 お手植え樹種配置図 》



《 お手播き樹種配置図 》



4. 代表者記念植樹計画

- ❖ 招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ❖ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、各自1本ずつ植樹を行います。
- ❖ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種を基本とします。
- ❖ 招待者の代表は、中央特別招待者、県内外特別招待者の中から50人程度とします。

5. 招待者記念植樹計画

- ❖ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による1人1本以上の記念植樹とします。
- ❖ 県外招待者は、式典行事開始前の午前中に植樹し、県内招待者は、午前・午後に分かれて植樹します。
- ❖ 富山県の気候風土や会場特性に適した樹木を植樹します。
- ❖ 「苗木のホームステイ[※]」等により、子どもたちや企業・団体等が育てた苗木も使用します。
- ❖ 植樹会場は、第68回全国植樹祭開催後、適正に維持・管理します。
- ❖ それぞれの植樹会場において、地元の方々と招待者との交流の機会をつくります。

※「苗木のホームステイ」

全国植樹祭で植樹する苗木の一部をとやまの森づくりサポートセンターの登録団体、登録企業、県内の小・中学生や「花とみどりの少年団」に育成してもらう取組み

区分	会場名	植栽本数	樹種	基本方針
植樹会場	①魚津桃山運動公園	3,000本	コナラ、ホオノキ、イタヤカエデ、オニグルミ、キタコブシ、クリ、トチノキ、ミズキ、アカシデ、ウラジロノキ、ウリハダカエデ、エゴノキ、ヤマボウシ、ムラサキシキブ、ヤブデマリ、ヤマブキ、オクチョウジザクラ、ケヤキ (18種類)	県民参加の多様な森づくりの推進
	②朝日赤川	1,000本	クロマツ、タブノキ	森づくりと海づくりの連携の推進
	③入善五十里	1,000本		
	④黒部田粍	1,000本	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信
	⑤魚津三ヶ	3,000本		
	⑥滑川運動公園	500本	コナラ、オニグルミ、エノキ、キタコブシ、クヌギ、クリ、トチノキ、ウラジロノキ、ハクウンボク、ヤマボウシ、ミヤマガマズミ (11種類)	県民参加の多様な森づくりの推進
	⑦丸山総合公園	500本	コシノフユザクラ、イタヤカエデ、エゴノキ、コナラ、クリ、ムラサキシキブ、ヤマブキ、シママチキクザクラ、ツルギオリトキクザクラ (9種類)	
合計		10,000本	28種類	

《 招待者記念植樹スケジュール 》

区分	植樹会場	招待者区分	グループ	植樹概要
特別招待者	魚津桃山運動公園	県外招待者 県内招待者	午前植樹	バスで宿泊施設及び指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
一般招待者	魚津桃山運動公園	県内招待者	午前植樹	バスで宿泊施設及び指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
			午後植樹	バスで指定集合地から式典会場に向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
	朝日赤川	県外招待者 県内招待者	午前植樹	バスで宿泊施設及び指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。
	入善五十里			
	黒部田糺			
	滑川運動公園			
	丸山総合公園			
魚津三ヶ	県内招待者	午後植樹	バスで指定集合地から式典会場に向かい式典に参加。式典終了後、バスにて植樹会場へ移動する。	

6. 植樹会場整備計画

● 魚津桃山運動公園

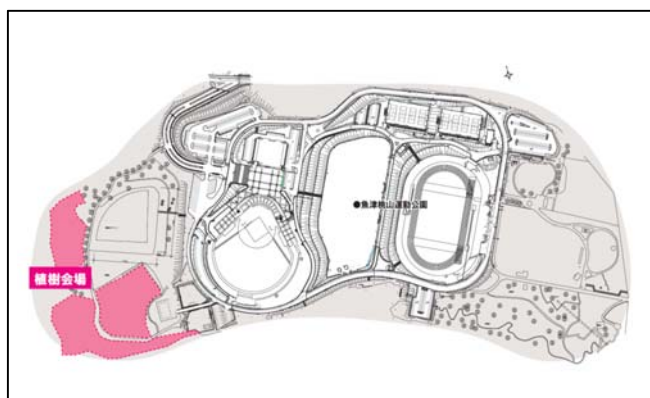
【現 状】 コナラやアカマツ等高木類が衰退し、クズや竹等が繁茂する里山林

【整備方針】 里山林の代表的な樹木や花木を植栽し、散策を楽しめる明るい里山林を造成するとともに、県民参加の森づくり活動の拠点として活用

《 会場位置図 》



《 会場平面図 》



《 植樹前の現況 》



《 将来イメージ図 》



● 朝日赤川・入善五十里

【現 状】 海岸林未整備地

【整備方針】 潮風や飛砂から田畑を守る海岸防災林を造成し、森づくりと海づくりの連携を促進

《 会場位置図 》

・ 朝日赤川



・ 入善五十里



《 植樹前の現況 》

・ 入善五十里



《 将来イメージ図 》



● 黒部田粍・魚津三ヶ

【現 状】 スギ人工林の伐採跡地

【整備方針】 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽し、森林資源の循環利用を促進

《 会場位置図 》

・ 黒部田粍



・ 魚津三ヶ



《 植樹前の現況 》

・ 魚津三ヶ



《 将来イメージ図 》



● 滑川運動公園

【現 状】 上市川沿いに位置する公園内の未整備地

【整備方針】 川沿いに多く生育する樹木を中心に植栽し、自然に親しめる森を造成

《 会場位置図 》



《 植樹前の現況 》



《 将来イメージ図 》



● 丸山総合公園

【現 状】 里山に位置する公園内の未整備地

【整備方針】 地元ゆかりのサクラや、里山を代表する樹木を植栽し、四季の変化を楽しむ森を造成

《 会場位置図 》



《 植樹前の現況 》



《 将来イメージ図 》



第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 会場等の整備にあたっては、土地形状の変更などにより自然環境に負荷を与えないよう、極力現地形を有効に利用し、経費の節減を図ることを基本とします。
- ❖ 周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性や機能性を考慮し、高齢者等に配慮します。
- ❖ 工作物等の整備にあたっては、原則として県産材を活用します。
- ❖ 会場全体を本県の森づくりの取組みや、企業、森林ボランティア団体等の森づくり活動状況等の発信の場とし、参加者へアピールします。

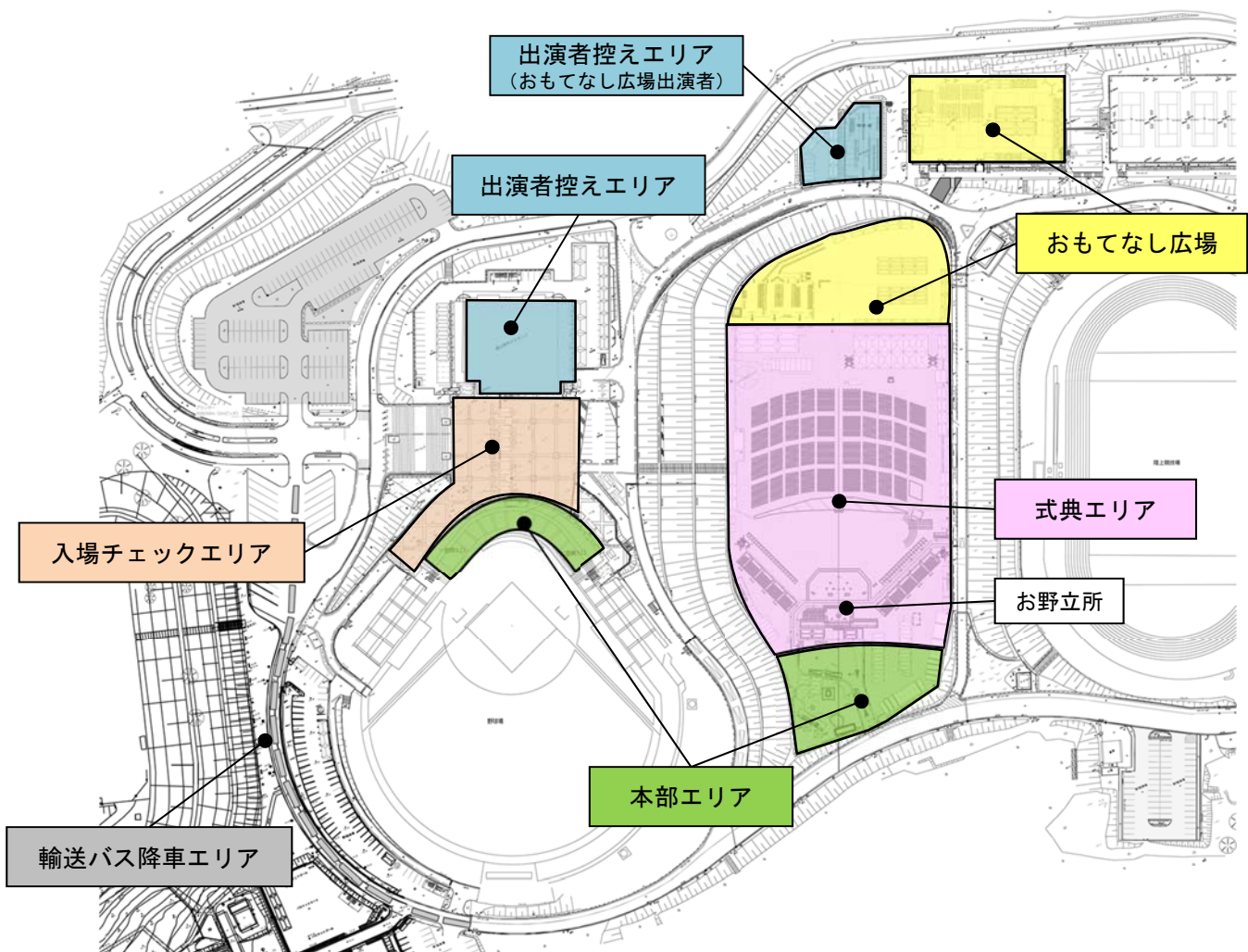
式典会場イメージ図



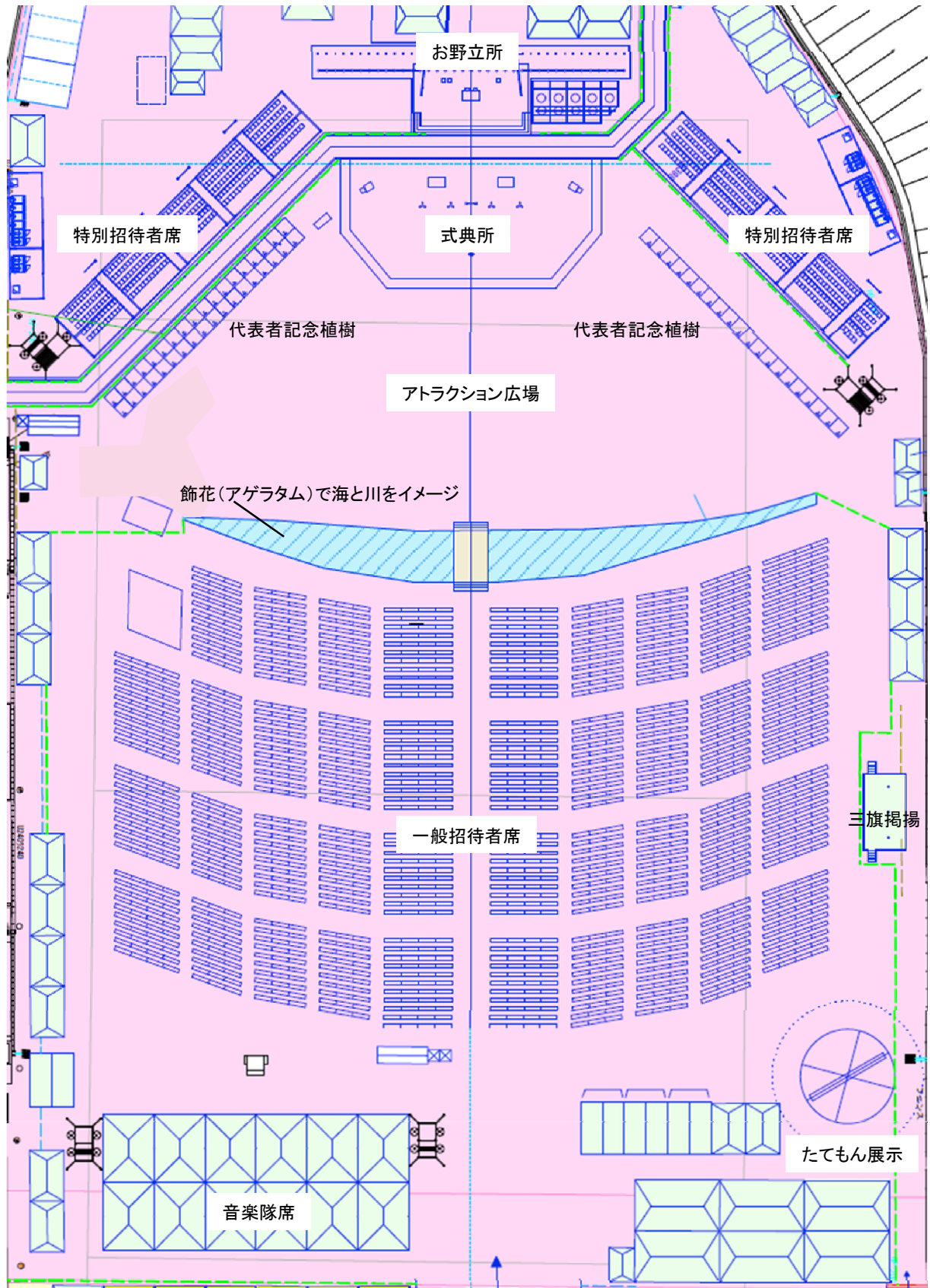
2. 施設配置計画

(1) 会場周辺状況

- ❖ 会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。



(2) 式典会場配置図



3. 主要施設計画

(1) お野立所

- ❖ お野立所は、富山湾と立山連峰の眺望が最も良い場所の近くに配置します。
- ❖ 丸太の柱と屋根を支える小径材により開放的な空間を作り出すとともに、県産材をふんだんに使用して県産材や木造建築の魅力を発信します。
- ❖ 県産材丸太を使用して、「立山連峰」や「散居村の屋敷林」、本県の林業を象徴する「杉木立」、「こきりこのササラ」などを表現し、「富山らしい」デザインにするとともに、周辺の景観と調和のとれたものとしします。
- ❖ 植樹祭終了後は移設、再利用します。



立ち並ぶ丸太で屋敷林やこきりこのササラをイメージ



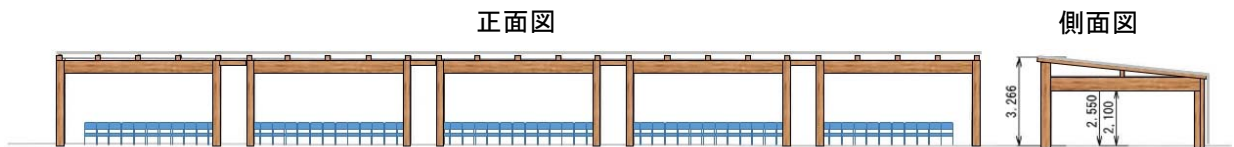
高さの違う丸太を用いて立山連峰の山なみを表現

(2) 木製仮設工作物等

❖ 会場内の仮設工作物については、原則、県産材を使用することとし、安全性、経済性及び、周辺の景観に配慮したものとします。

① 木製テント

・ お野立所両翼の特別招待者席は、県産材を使用した木製テントを設置します。



② ウェルカムボード

・ 式典会場入口において、参加者を歓迎するためのウェルカムボードを地元小学生の協力を得ながら製作・設置します。



式典会場入口に設置したイメージ

③ ベンチ、プランターカバー

・ ベンチ、プランターカバー等の木製品には、県産材を使用します。



第68回全国植樹祭プレ大会で使用した県産材ベンチ

④ 御机等の製作

・ 式典に使用する御机やお手播き箱などを県産材を使用して製作します。
 ・ 演台や御種入れには、井波彫刻や庄川挽物木地の伝統技法を取り入れ製作します。



第66回全国植樹祭石川大会で御使用された御机(左)及び演台(中)、庄川挽物木地による御種入の試作品(右)

4. 案内・誘導計画

- ❖ 招待者が安全かつスムーズに式典行事や植樹行事などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、案内サインを各所に設置します。
- ❖ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、招待者が一目で分かるようピクトサイン（絵文字）等を使用します。
- ❖ 案内サインの材料には、県産材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

5. 飾花計画

- ❖ 会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- ❖ 会場に設置するプランターカバーは、県産材を使用して製作します。
- ❖ 県をはじめ、関係市町村、関係団体、県民が一体となり、花飾りや美化に努めます。

6. 電気・給排水・通信設備計画

（1）電気設備計画

- ❖ 会場内で使用する電源は商用電源を引き込むほか、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

（2）給排水計画

- ❖ 水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

（3）通信設備計画

- ❖ 運営を円滑に行うため、実施本部等に携帯電話、トランシーバー等の通信機器を適正に配置します。

（4）トイレ計画

- ❖ 植樹会場、おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 全国からの招待者を富山県らしいおもてなしの心でお迎えし、第68回全国植樹祭の開催意義や理念を全国に発信します。
- ❖ 県内市町村、森林・林業関係団体、NPO法人及びボランティア団体等の協力・連携を図ります。
- ❖ 参加者の安全・安心を確保し、快適に、清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

2. 招待計画

○ 運営にあたっての参加者区分

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、富山県知事、県議会議員、次期開催県知事 等
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	950人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	2,800人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民 等
	小計	3,750人	
招待者小計 ①+②+③		4,200人	
④出演者等		3,300人	出演者、出展者、実施本部員、協力員(市町村職員、ボランティア)
計 ①+②+③+④		7,500人	

3. 参加者行動計画

○ 当日

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		出演者等	
			県外	県内	県外	県内		
	(人数)	30人	220人	200人	950人	2,800人	3,300人	
6:00							指定集合地	
7:00			指定宿泊地	指定集合地	指定宿泊地	指定集合地	各配置場所	
8:00	おもてなし 広場	指定宿泊地	記念植樹 (植樹会場)	記念植樹 (植樹会場)	記念植樹 (植樹会場)	入場チェック		
9:00		到着	入場チェック	入場チェック	入場チェック	会場散策		
10:00	式典行事	着席	プロローグ		プロローグ			
11:00		離席	代表者植樹	式典		式典		
12:00		昼食	エピローグ		エピローグ			
13:00	おもてなし 広場		昼食・会場散策		昼食・会場散策			
14:00			順次出発		順次出発			
		駅・空港	駅・空港 ※視察	指定集合地	駅・空港 ※視察	記念植樹 (植樹会場)		指定集合地
								指定集合地

※招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

(1) 前日受付

- ❖ 宿泊する招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ❖ 宿泊施設には招待者専用の受付を設置しスムーズなチェックインができるようにします。
- ❖ 宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ❖ 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で、バス等に乗車する前に行います。
- ❖ IDカードの紛失や大会用品等が不足した場合に備え、式典会場入口付近にIDカード再発行所を兼ねた大会用品等のストックヤードを設け、そこで不足品の対応を行います。
- ❖ 円滑な受付や配付物の配付が行えるよう、関係者と連携を図ります。

(3) 招待者に配付する記念品等

- ❖ 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、富山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品等を配付します。
- ❖ 式典の円滑な運営のため、IDカードや帽子等を配付します。
 <主な配付物>
 - ・全国植樹祭プログラム
 - ・記念品（特産品等） 等

(4) レセプション受付

- ❖ 前日に開催されるレセプションの受付は、下記により行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	会場入口	会場入場前	名簿の確認、会場案内

5. 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

- ❖ 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第68回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

〔主 催〕 公益社団法人国土緑化推進機構、富山県
〔開催日〕 平成29年5月27日（土）
〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内
〔招待者〕 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者
第68回全国植樹祭大会ポスター原画作者

(2) レセプション


- ❖ 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第68回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

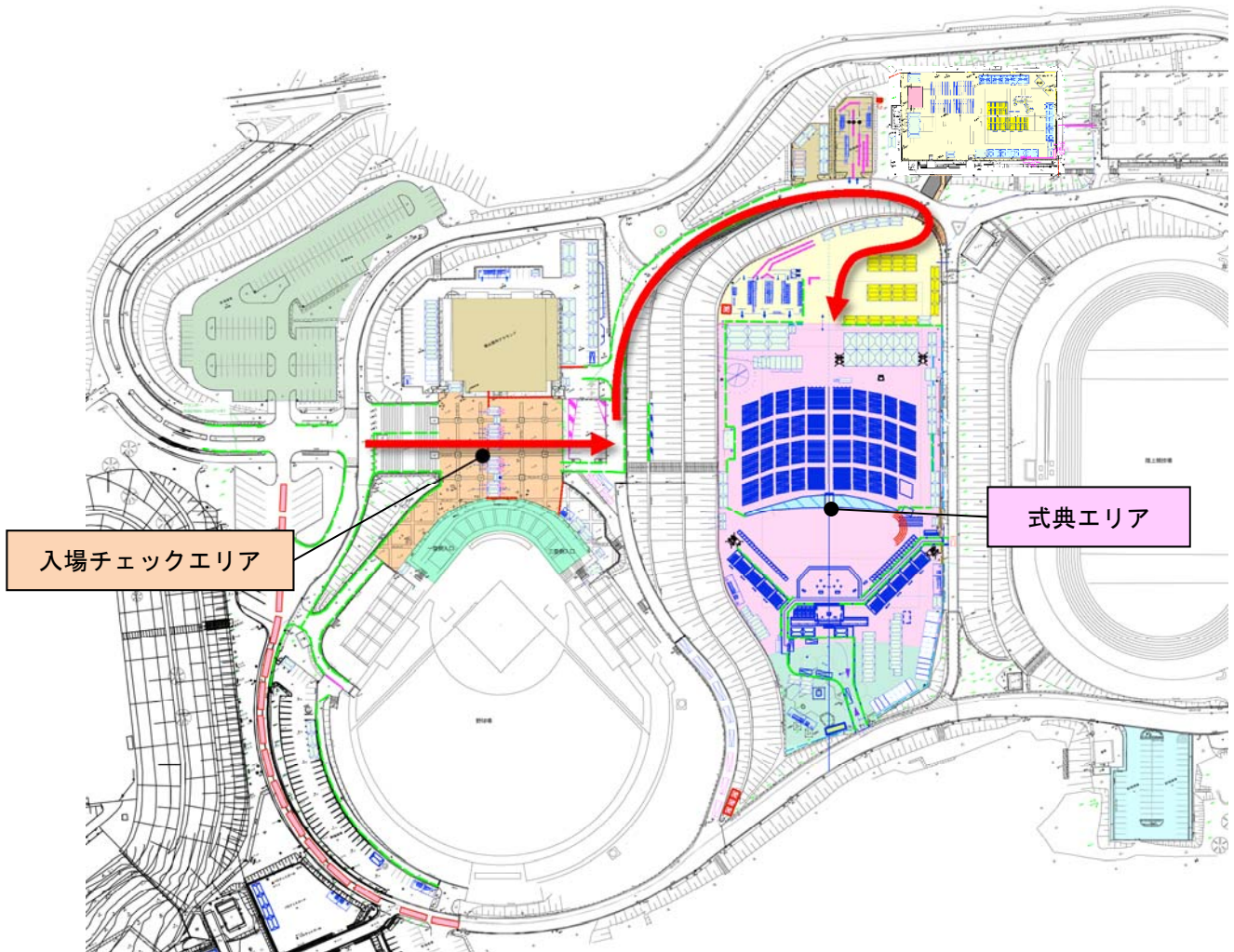
〔主 催〕 富山県
〔開催日〕 平成29年5月27日（土）
〔会 場〕 両陛下の宿泊施設内
〔出席者〕 350名程度

- ・中央特別招待者
（公益社団法人国土緑化推進機構会長、国務大臣、福島県知事、
福島県議会議員、富山県議会議員 等）
- ・県外特別招待者
（県選出国會議員、緑化功労者、中央団体の長 等）
- ・県内特別招待者
（緑化功労者、県議会議員、市町村長、実行委員会委員 等）

6. 会場内動線計画

○ 入場時の動線

凡 例	
	招待者入場時動線 (中央特別招待者を除く)



7. おもてなし広場計画

- ❖ 式典会場と隣接した芝生広場エリアやテニスコートエリアにおもてなし広場を設置します。招待者が安全・安心・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。
- ❖ 富山県の森づくり活動の取組みや観光、特産品などを招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売コーナー等を関係団体の協力により運営します。
- ❖ 県産材をふんだんに使った屋台や陳列台等を使用し、温かみのある雰囲気に参加者の方々をお迎えします。

区分	エリア	種類	内容
おもてなし広場	芝生広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導 各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
		展示・販売コーナー	富山県内の森林・林業、観光等の紹介、特産品の販売
		臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
		救護所	参加者の体調管理、傷病者の医療救護
	テニスコート	湯茶接待コーナー	湯茶、おいしい富山の水の無償提供
		おもてなしステージ	郷土芸能等の披露などイベントを実施
		飲食コーナー	飲食物の販売
		休憩コーナー	休憩用のテント、ベンチを設置

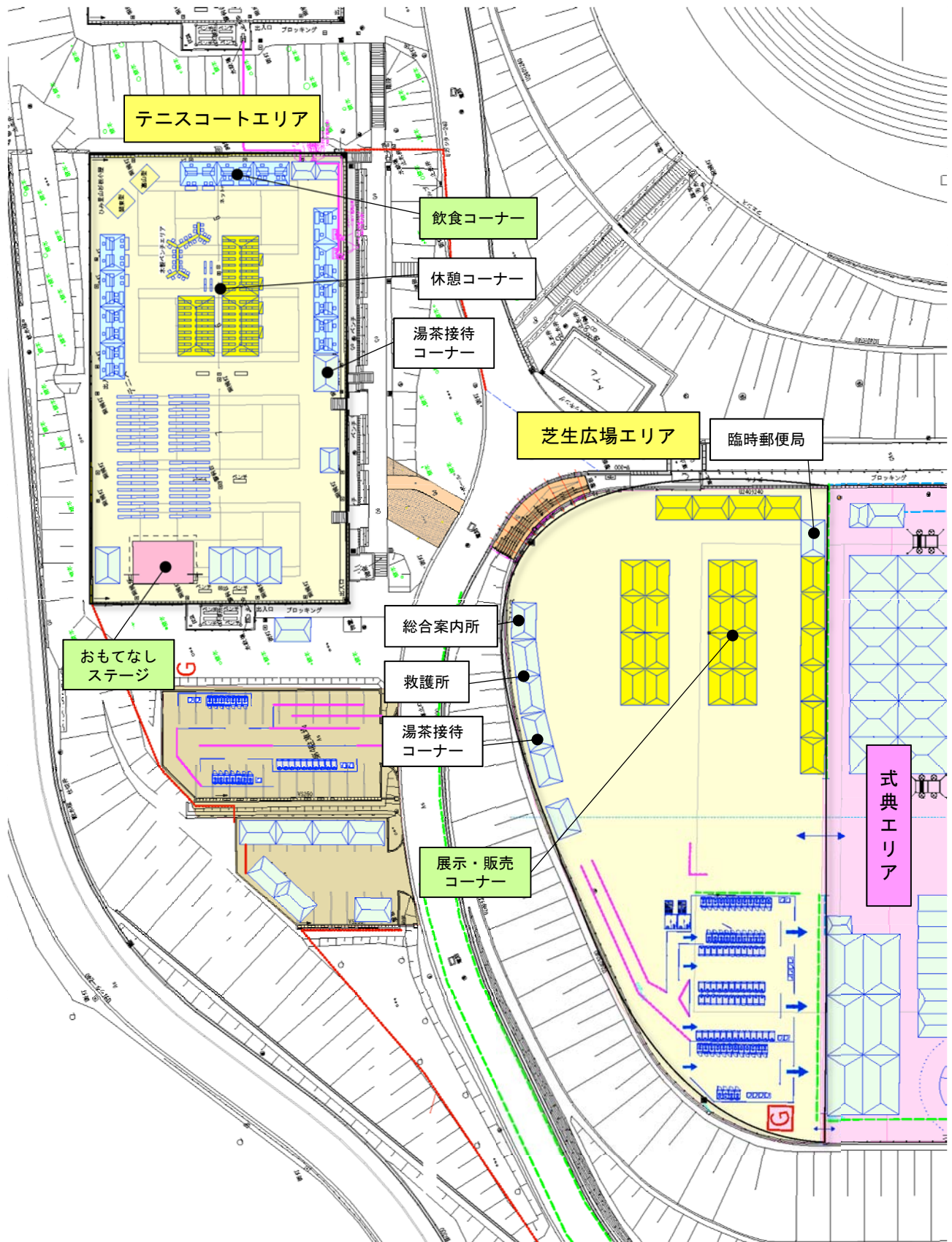


おもてなしステージ
(第68回全国植樹祭プレ大会)



休憩コーナー
(第68回全国植樹祭プレ大会)

《 おもてなし広場配置図 》



《 おもてなし広場展開イメージ 》



県産材のテーブル・椅子を活用した飲食コーナー
(第68回全国植樹祭プレ大会)



陳列台
(第68回全国植樹祭プレ大会)



木製屋台(第68回全国植樹祭プレ大会)



8. サテライト会場計画

- ❖ 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第68回全国植樹祭を身近に感じていただくため、魚津市内の海の駅「蜃気楼」にサテライト会場を設置し、式典の放映や各種出展ブースを設置します。
- ❖ 来場者の方々にそれぞれの地域や家庭で植樹してもらうため、本大会で植樹する樹木と同種の苗木を約1,000本無料配布します。

《 会場位置図 》



《 サテライト会場イメージ 》



9. 昼食計画

(1) 招待者への対応

- ❖ 中央特別招待者の一部は、式典会場外に別途設ける会場において催される昼食会に参加していただきます。
- ❖ 上記以外の中央特別招待者、特別招待者、一般招待者は、式典会場での昼食（弁当）とします。

(2) 弁当による昼食

- ❖ 地元産食材をふんだんに使用した富山県らしい献立とします。
- ❖ 弁当の配付については下表のとおりとし、効率的に配付します。

参加者区分	弁当配付・喫食場所	弁当配付時間
中央特別招待者 (昼食会参加者を除く)	式典エリア (中央特別招待者席)	エピローグ終了後
特別招待者	式典エリア (特別招待者席)	
一般招待者	式典エリア (一般招待者席)	
出演者等	出演者控所等	随時
ボランティア	本部エリア等	
県職員等	本部エリア等	

10. 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- ❖ 式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- ❖ 消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の輸送・受入体制を整えます。

(2) 衛生対策

- ❖ 厚生センター（保健所）等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ❖ 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及び周辺的环境美化に努めます。

11. 消防・防災・警備計画

(1) 消防・防災

- ❖ 異常事態の早期発見・通報に努めます。
- ❖ 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ❖ おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- ❖ 避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。

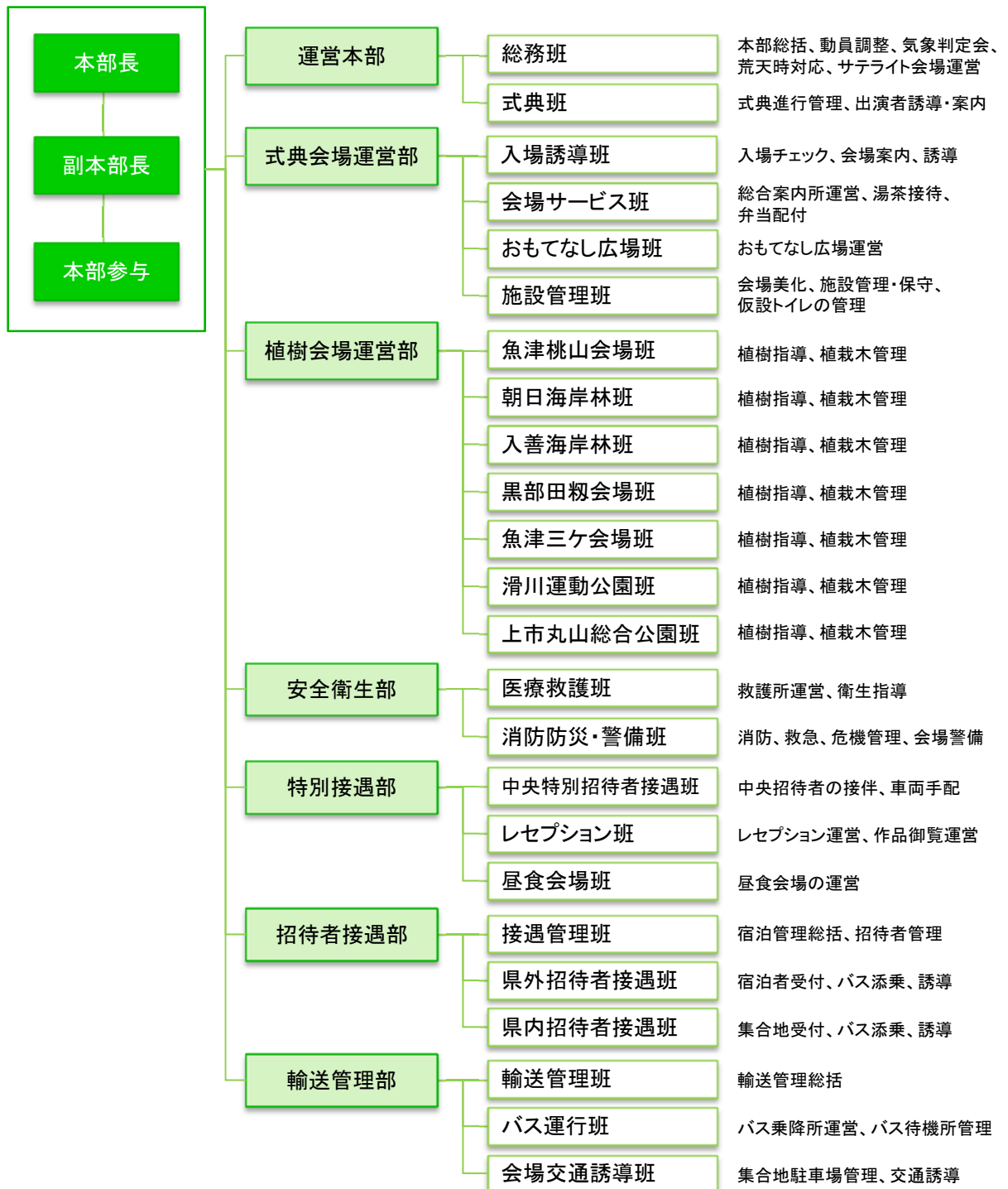
(2) 警備

- ❖ 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- ❖ 警備員や実施本部員などを配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- ❖ 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等により持ち物検査や入場者の確認を行います。
- ❖ 式典会場、植樹会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視警備等を行います。

12. 実施本部計画

- ❖ 円滑な運営を図るための実行組織として、「第68回全国植樹祭富山県実施本部」を設置します。
- ❖ 県職員、市町村職員、ボランティアなどの積極的な協力を得て効率的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

《 実施本部体制 》



13. 研修・リハーサル計画

- ❖ 円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- ❖ 効果的な研修、リハーサルを実施するため、事前に班ごとの運営マニュアルを作成します。
- ❖ リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務の内容を把握できるようにします。

(1) 実施本部員等の研修計画

実施本部員、出演者及び協力員（関係市町職員、ボランティア、関係団体の構成員等）への研修は、事前の資料配付、現地研修、リハーサルへの参加等により行います。

(2) リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
式典リハーサル	平成29年 4月16日(日)	式典会場	出演者(介添者) 本部員(一部)	式典部分リハーサル
総合リハーサル	平成29年 4月29日(土)	式典会場	出演者 協力員(一部) 本部員	式典通しリハーサル、 実施本部各班研修
荒天リハーサル	平成29年 5月14日(日)	魚津市 総合体育館	出演者(介添者) 本部員(一部)	荒天時の 式典部分リハーサル
前日リハーサル	平成29年 5月27日(土)	式典会場	出演者 協力員 本部員	式典通しリハーサル、 実施本部各班リハーサル

14. 雨天時・強風時対応計画

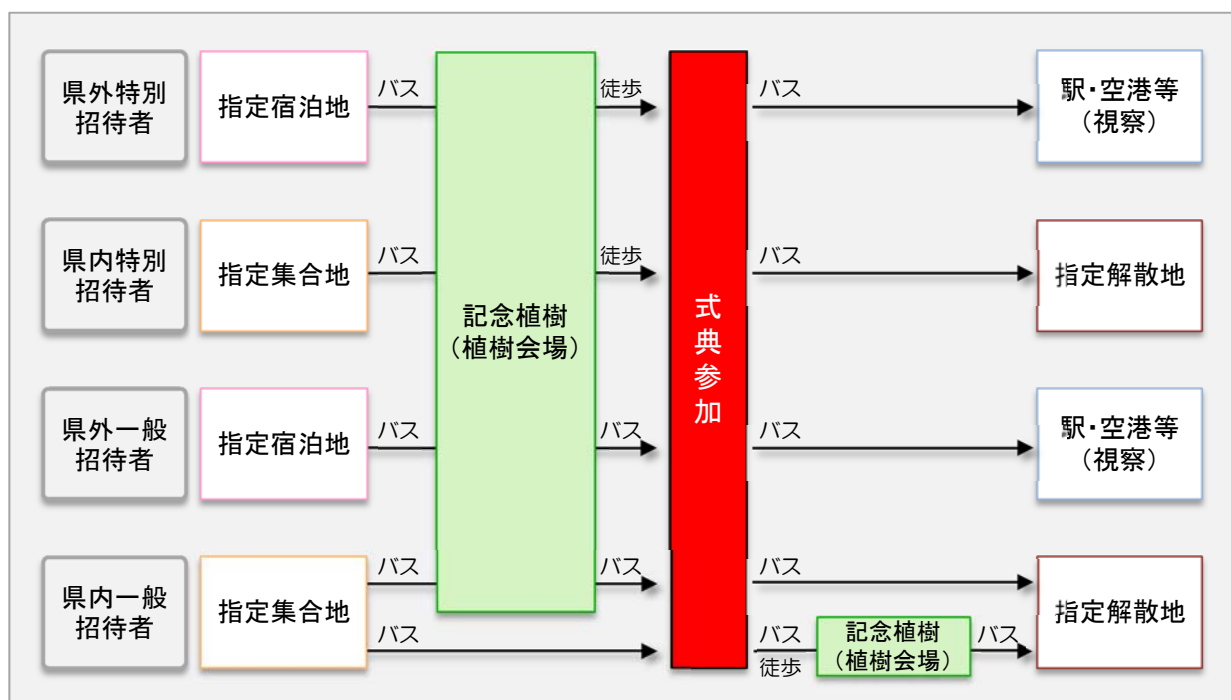
- ❖ 晴天時の計画と同じ内容で行うことを基本とし、必要な配慮・準備を行います。
- ❖ プロローグやエピローグは天候に応じ、各出演団体と協議の上、変更内容を決定します。
- ❖ 式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- ❖ 会場警備上、傘の持ち込みができないため、参加者全員に雨合羽を事前に配付します。

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 式典前日に、宿泊する招待者（主に県外招待者）は、式典会場や植樹会場の近隣地域などで、原則として、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- ❖ 式典当日は、前日宿泊した招待者は宿泊施設から、宿泊しない招待者等は最寄りの集落地から、原則として、実行委員会が準備したバスにより会場に移動することとします。
- ❖ 宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、大会前後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- ❖ 招待者等の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制などについて、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内により快適な輸送体制を整えます。
- ❖ 会場周辺及びアクセス道路沿線では、地元市町村や関係者、地域住民の参加・協力を得て、美化に努め、招待者を歓迎します。
- ❖ 富山県の温かいおもてなしの心をもって、無理のない安全、安心な宿泊・輸送体制を整えます。
- ❖ 県外招待者の方が、富山県の森林・林業・木材産業に関する理解を深めていただくとともに、雄大な自然、多様な文化・歴史などの富山県の魅力を体感していただけるよう大会前後に視察コースを設定します。

《 植樹祭当日の招待者スケジュール 》



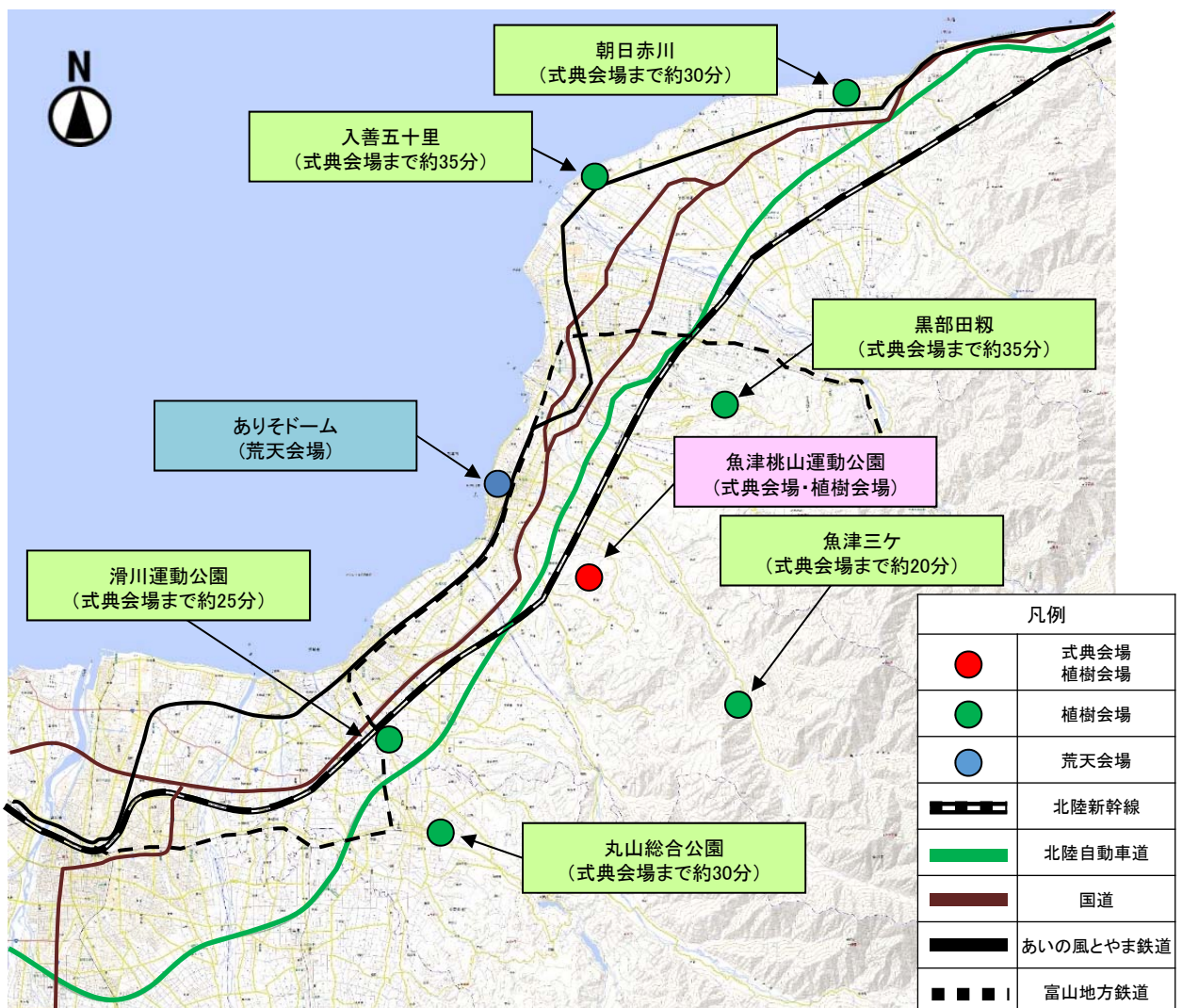
2. 宿泊計画

(1) 宿泊施設の選定

- ❖ 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス及びスケジュール等を考慮した宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- ❖ 施設内または近隣で、安全にバスの乗降できる場所が確保された宿泊施設を選定します。
- ❖ フロントやロビー等宿泊施設内に専用デスクを設置し、大会用品（全国植樹祭プログラム、IDカード、帽子等）を円滑かつ確実に配付できる体制を整備します。
- ❖ 食事については、富山の食のPRに努め、富山の特産品を積極的に取り入れたメニューを提供します。
- ❖ 緊急時に搬送できる救急病院や緊急対応担当者の有無、AED（自動体外式除細動器）の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。

(2) 宿泊候補地

- ❖ 宿泊招待者は、原則として、植樹会場近隣にご宿泊していただきます。

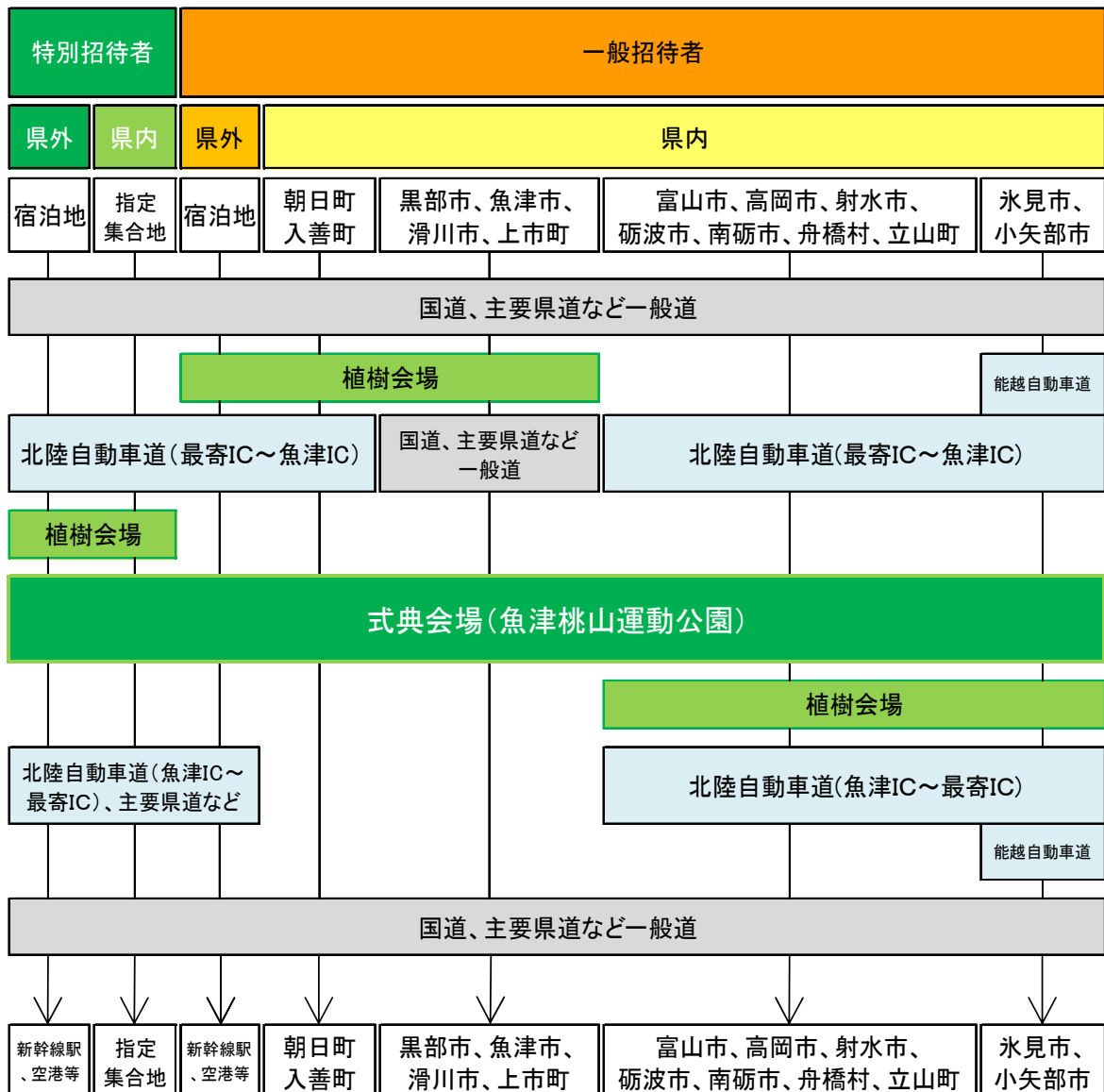


3. 輸送計画

(1) 輸送方針

- ❖ 参加者はバスで移動することを原則とし、参加者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ❖ 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを設定します。
- ❖ 式典当日の道路混雑等のリスクを想定し、できるだけ移動時間がかからない最短ルートを設定します。
- ❖ 交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

《 輸送フロー 》



※招待者の輸送計画は変更となる場合があります。

(2) 駐車場計画

- ❖ 式典中の計画輸送バスの駐車場は、道路交通事情も考慮し、会場の隣接地または近傍地から選定し、確保します。
- ❖ 魚津桃山運動公園を除く各植樹会場における招待者記念植樹の間は、各植樹会場の近隣に乗降場所を設けます。

《 バス駐車場候補地／式典中 》

駐車場名	場所(位置)	収容台数
新川文化ホール駐車場	魚津市宮津地内	120台
ありそドーム駐車場	魚津市北鬼江地内	65台

4. 視察計画

- ❖ 県外招待者を対象に、雄大な自然など富山県の数多くの魅力を実感していただける視察コースを設定します。
- ❖ 価格設定やコース設定など、参加者のニーズを捉えた内容で参加率を高め、観光振興も図ります。
- ❖ 日帰りコースや、少人数でも参加可能なジャンボタクシー利用のコースを設定します。

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天会場で式典を実施します。
- ❖ 開催日の1週間前から気象情報の収集に努め、屋外会場での式典の実施の可否を判断します。
- ❖ 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 開催会場

- ありそドーム（富山県魚津市北鬼江2898-3）



3. 参加者一覧

区分	人数	内訳
中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、富山県知事、県議会議長、次期開催県知事 等
県外招待者(特別・一般)	1,170人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長 等
県内招待者(特別)	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
出演者等	600人	
合計	2,000人	

4. 荒天時運営計画

(1) 式典計画

- ❖ 晴天時の式典進行プログラムから「プロローグ」、「エピローグ」部分、記念式典の代表者記念植樹を除いた構成とします。
- ❖ 式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。
- ❖ 式典の時間は、50分程度とします。

(2) 式典プログラム

所要時間	進行
	招待者入場
0:30	国務大臣、富山県知事、福島県知事、魚津市長等到着
	式典
0:50	天皇皇后両陛下御到着 開会のことば 国歌独唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 大会テーマのアピール 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下御退席
	招待者退場

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 第68回全国植樹祭の開催機運の醸成と、開催理念や大会の基本方針について、県民に広く普及啓発するため、記念事業等を実施します。

2. 記念事業の内容

- ❖ 記念事業は、全国植樹祭の開催理念を達成するため、第68回全国植樹祭富山県実行委員会等が主催する事業とします。

① 全国植樹祭プレ大会

全国植樹祭の開催1年前の時期に、従来から春に開催してきた「とやま森の祭典」をプレ大会として位置づけ、大会の周知と開催機運の醸成を図るため開催します。

- 【時期】平成28年5月22日（日）
- 【場所】魚津桃山運動公園
- 【内容】式典（表彰など）、記念植樹、森林整備、木工体験（プランターカバーの製作）、特産品の展示・販売、森づくり活動のPR



② 全国植樹祭カウントダウンイベント

開催日決定を受けて、全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施します。



③ 苗木のホームステイ

第68回全国植樹祭で植樹する苗木の一部を県内の小中学校等で育てることにより、緑の大切さと森づくりへの関心を高めます。

- 【時期】平成26年秋季～
- 【規模】育成ポット 約6000個
- 【内容】花とみどりの少年団や、とやまの森づくりサポートセンター登録団体など県民参加により苗木を育成



④ 東日本大震災被災地へのエノキリレー

東日本大震災被災地復興支援のため、皇居内のエノキから採取した種から育てられた苗を平成28年6月5日開催の第67回全国植樹祭で長野県から引継ぎ、1年間、県内で育成してから次期開催県の福島県にリレーします。（リレーされたエノキの苗は、最終的に平成30年度の第69回全国植樹祭で植樹される予定）



⑤ 記録誌の発行、記録映像の作成

第68回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念事業などの取組みを、記録誌や記録映像等にまとめ、関係機関等に配付します。

⑥ 全国植樹祭シンボル「木製地球儀」巡回展示

第68回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、「木製地球儀」を県内全15市町村で巡回展示します。

【時期】平成28年7月11日（砺波市）

↓
平成29年3月16日（魚津市）



木製地球儀は、21世紀最初の全国植樹祭の開催にあたり、新たな歴史を築いていく象徴として井波彫刻協同組合で製作されました。

「第52回全国植樹祭やまなし2001」において、綿貫民輔大会会長（当時）から山梨県知事に交付され、以来、全国植樹祭のシンボルとして開催県に引き継がれています。

⑦ お手播き種子の採取イベント

第68回全国植樹祭で天皇皇后両陛下にお手播きしていただく種子を県民参加により採取することで、開催機運の醸成を図ります。

○エドヒガン（天皇陛下お手播き樹種）

【時期】平成28年5月25日（水）

【場所】呉羽山公園都市緑化植物園（富山市北代地内）

○ヤマザクラ（皇后陛下お手播き樹種）

【時期】平成28年6月9日（木）

【場所】松倉城跡（魚津市鹿熊地内）

○タブノキ（天皇陛下お手播き樹種）

【時期】平成28年8月23日（火）

【場所】長坂の大いぬくす（氷見市長坂地内）



3. 関連事業の内容

- ❖ 関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、実行委員会と互いに連携していく必要がある事業とします。

① 第46回全国林業後継者大会

全国の林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性を再認識し、森林を育て活用し、県民運動を推進することにより、林業技術と元気な森林・林業を未来に引き継ぐことを発信するための大会を開催します。

【時期】平成29年5月27日（土）（第68回全国植樹祭開催日の前日）

【場所】黒部市宇奈月国際会館セレネ

【内容】林業者の活動報告、パネルディスカッション 等

② 地域リレー植樹

全県的な開催機運の醸成と、県民参加による森づくり活動を進めるため、県内全15市町村が、それぞれ地域特性に応じた植樹イベントを実施します。

【時期】平成28年春季～

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等



③ 県民参加の森づくり関連イベント

とやまの森づくりサポートセンターを通じて、企業・森林ボランティア団体等が参加する森づくりイベントなどを、第68回全国植樹祭の関連事業と位置付け、相互に連携して情報発信等を行います。

【時期】平成28年（年間）

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等

森づくりボランティア交流会（4月23日）

森づくりボランティアの集い（9月）



④ 第51回全国木材産業振興大会

全国の木材業関係者が一堂に会し、木材産業振興への意識の高揚と、木材利用拡大を発信するための大会を開催します。

【時期】平成28年11月10日（木）

【場所】富山県民会館

【内容】式典（表彰など）、基調講演、

パネルディスカッション 等



第9章 広報計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 広報活動を通じて、大会の開催理念、基本方針、内容等についてPRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- ❖ 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- ❖ 大会テーマ、シンボルマーク及び大会ポスター原画を活用し、第68回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。
- ❖ とやま水と緑の大使による、効果的な広報活動を実施します。

2. 広報計画

① インターネットの活用

第68回全国植樹祭の公式ホームページを開設し、各種イベントや県内の森づくり等に関する情報を積極的に発信するとともに、各種の問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効率的に活用します。

② 公共広報等の活用

県及び各市町村の広報や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

③ マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等、各報道機関との連携を深めるとともに、全国植樹祭、記念事業、県民運動等に関する情報を提供します。

④ 植樹祭情報誌の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

⑤ PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。



第68回全国植樹祭 実施計画<概要版>
平成29年2月

富山県農林水産部 森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

電話番号：076-444-4077（直通） ファクシミリ番号：076-444-3390

ホームページ：<http://www.68syokujusai-toyama.jp/>

または、「第68回全国植樹祭」で検索してください。